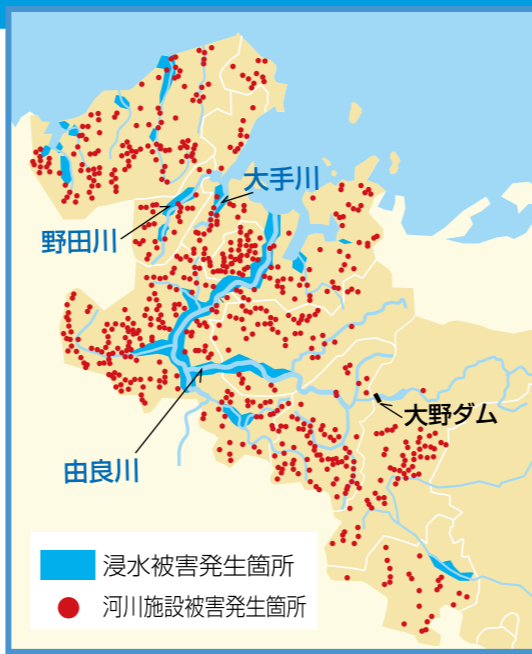


② 河川の復旧

府北中部で最も大きな河川である由良川をはじめ、大手川や野田川など各地の河川がはん濫し、たくさんの家屋や道路、田畑が水につかりました。

府内で堤防や護岸の被害は1,900か所におよびましたが、すべての河川で復旧工事が終わりました。



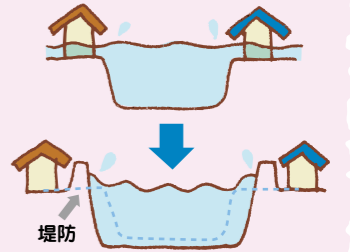
主な河川の被害
浸水面積
府内 3,580ha
(うち、由良川約2,600ha、
大手川約170ha、
野田川約75ha)
堤防、護岸の被害
府内 約1,900か所
被害額 約250億円

大手川の復旧

宮津市の市街地を流れる大手川がはん濫し、宮津市役所や宮津小学校が腰の高さまで水につかるなど、約2,500戸が浸水しました。大手川では、このような災害を防ぐため洪水が安全に流れるように河川改修工事を進めています。



川幅を広げたり、堤防を高くする工事で、大雨でも洪水を防げるようにしているんだ



行政と市民と一緒に勉強会を開いて「川づくり」について話し合い、宮津城跡の景観や河川環境にも配慮しながら工事を進めています。



被害が大きかった由良川下流部の対策



由良川位置図(下流部)

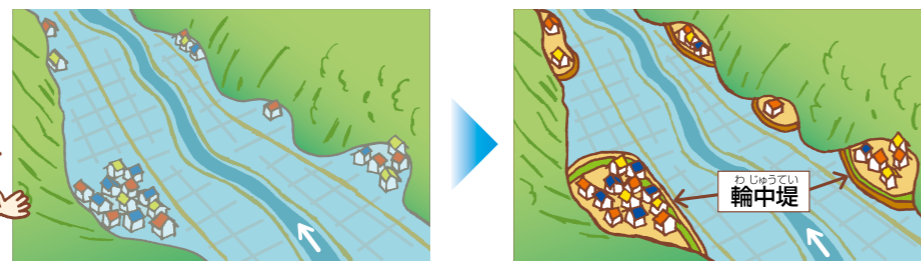
由良川のはん濫により、4市1町で約1,700戸が浸水する大きな被害を受けました。特に被害が大きかった由良川下流部では、住家を洪水から守るため緊急的に堤防の工事などを進めています。



平成16年10月台風第23号時の被害状況(福知山市河守地区、千原・尾藤地区)

輪中堤整備が進む

早く安心して暮らせるよう工夫して対策が進められているんだね



由良川下流部では川沿いにすべて堤防をつくろうとすると非常に長い年月がかかります。このため、住宅地を囲むような堤防(輪中堤)をつくり、洪水から地域を守る工事が進められています。

野田川の復旧

野田川は、堤防が崩れ大きな浸水被害が発生し、1名の尊い命が失われました。堤防の復旧にあわせて同じくらいの洪水にもたえられる河川改修をしました。



アユモドキのお引っ越し作戦

亀岡市でも川の底のブロックの一部が流される被害がありました。復旧工事に取りかかるときに天然記念物のアユモドキが生息していることがわかりました。京都府南丹土木事務所や亀岡市、自然保護団体で話し合い、工事前にアユモドキを引っ越しさせることにしました。魚が傷つかないように気をつけながら捕獲、見つかった場所の近くに無事引っ越ししました。河川の改修もアユモドキがすみやすいようにブロックや石にすき間を作るなどの工夫をしています。



アユモドキを安全なところへお引っ越し (京都新聞社提供)